

令和5年度導入機器

紫外可視近赤外分光光度計

日本分光(株) V-770

本装置は令和5年度 公益財団法人JKA補助事業（競輪の補助金）により導入しました。



機器の概要



紫外領域、可視領域および近赤外領域の透過スペクトル、反射スペクトル、吸収スペクトルなどを測定する装置です。様々な試料の光学特性を検査するために業界を問わず幅広い分野で利用いただけます。

また付属の各種積分球ユニットや測定プログラムにより、様々な評価・測定も可能です。

機器の用途

- ① 固体および液体試料の透過率、反射率測定
- ② 絶対反射率測定
- ③ 色彩評価、ヘーズ測定、日射透過率反射率測定



●仕様

光学系	：シングルモノクロメーター ダブルビーム方式
波長範囲	：通常ホルダ使用時 190～3200nm 積分球使用時 200～2500nm φ150mm積分球使用時 220～2200nm 宝石用積分球使用時 220～2000nm 絶対反射率測定ユニット 250～2000nm
付属プログラム	：色彩計算、ヘーズ値計算 日射透過率・反射率測定

●問い合わせ

甲府技術支援センター
研磨・宝飾科 TEL:055-243-6127

